

第3回 宇治市水道事業経営審議会 《資料4》

・ 投資計画と効果

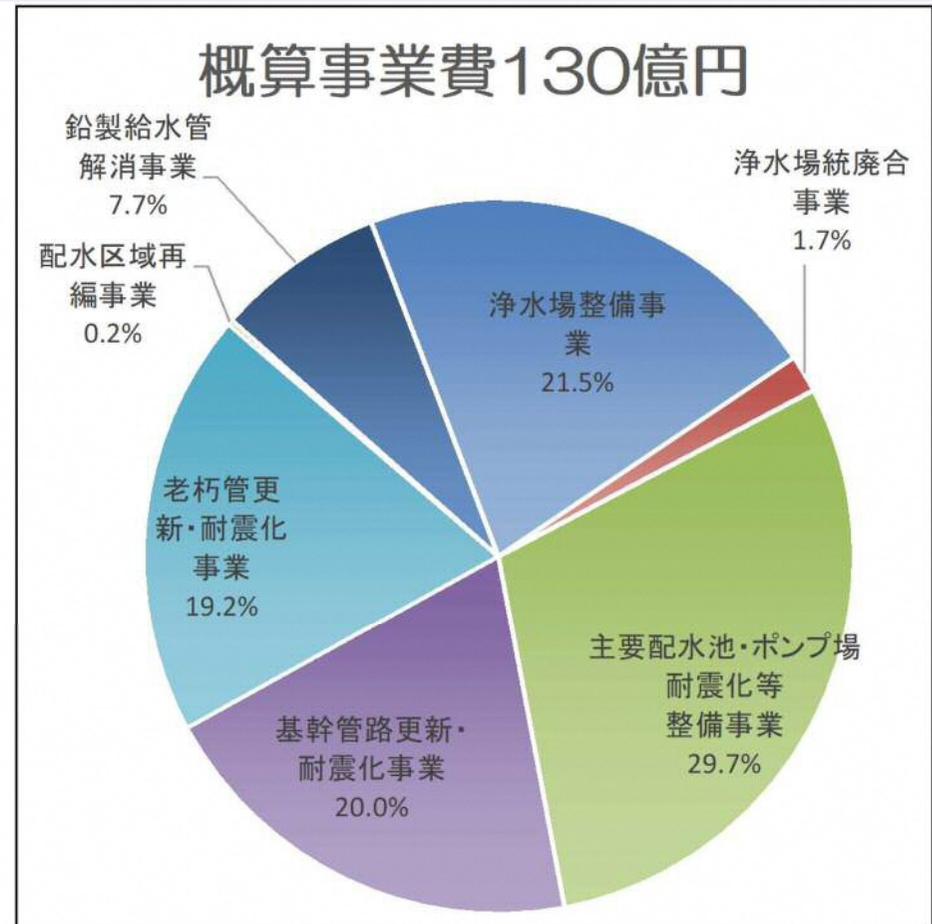
(1) 投資計画

(2) 投資効果

(3) 財政見通し

(1) 投資計画

事業名	事業費 (億円)
浄水場整備事業	27.9
浄水場統廃合事業	2.2
主要配水池・ポンプ場耐震化等整備事業	38.6
基幹管路更新・耐震化事業	26.0
老朽管更新・耐震化事業	25.0
配水区域再編事業	0.3
鉛製給水管解消事業	10.0
計	130



※現宇治市地域水道ビジョンの事業規模(80億円)では、基幹管路更新・耐震化事業及び老朽管更新・耐震化事業への投資ができない。

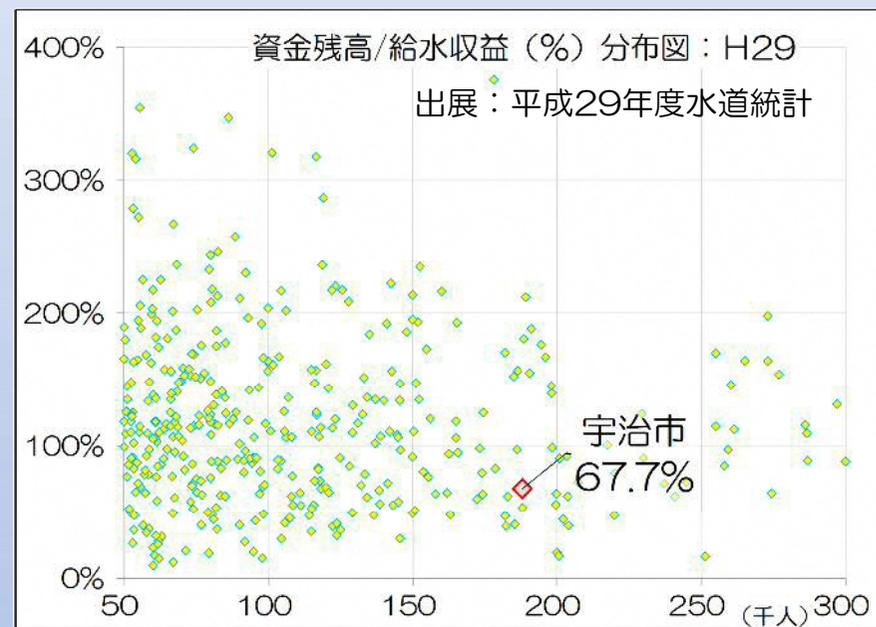
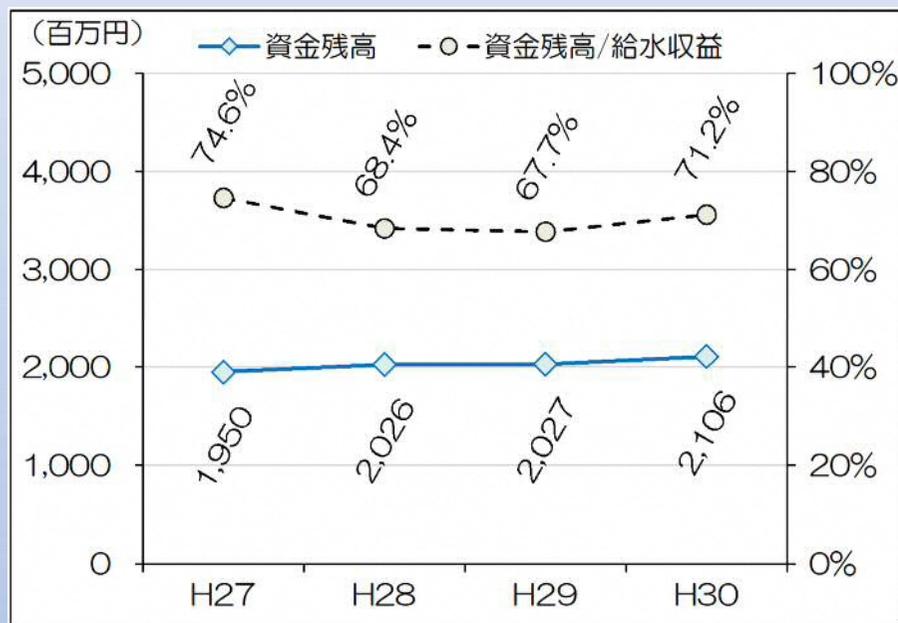
(2) 投資効果

	単位	全国平均	京都府平均	宇治市	
		平成30年度	平成30年度	令和元年度 実績	令和12年度 見込み
浄水施設の耐震化率	%	30.6	55.5	74.4	82
(耐震対策の施されている浄水施設能力 / 全浄水施設能力) × 100					
配水池の耐震化率	%	56.9	46.8	38.3	87
(耐震対策の施されている配水池容量 / 総配水池容量) × 100					
基幹管路の耐震適合率	%	40.3	37.8	24.2	31
(基幹管路の耐震適合管延長 / 基幹管路の総延長) × 100					

(3) 財政見通し

〈資金残高〉

- ・ 資金残高は、平成29年度末20.3億円、平成30年度末21.1億円
- ・ 資金残高/給水収益（67.7%）は、同規模事業者と比べて低い



(3) 財政見通し

〈資金残高〉

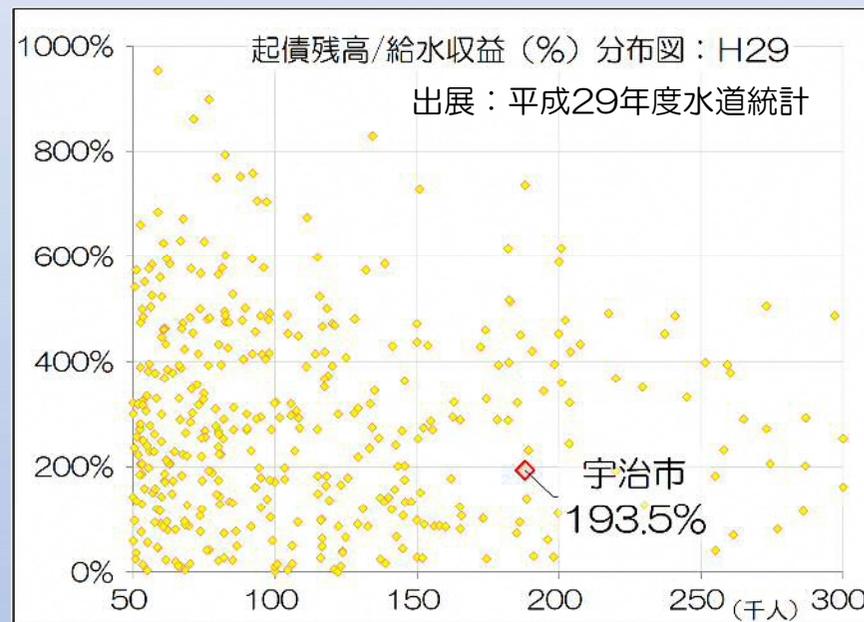
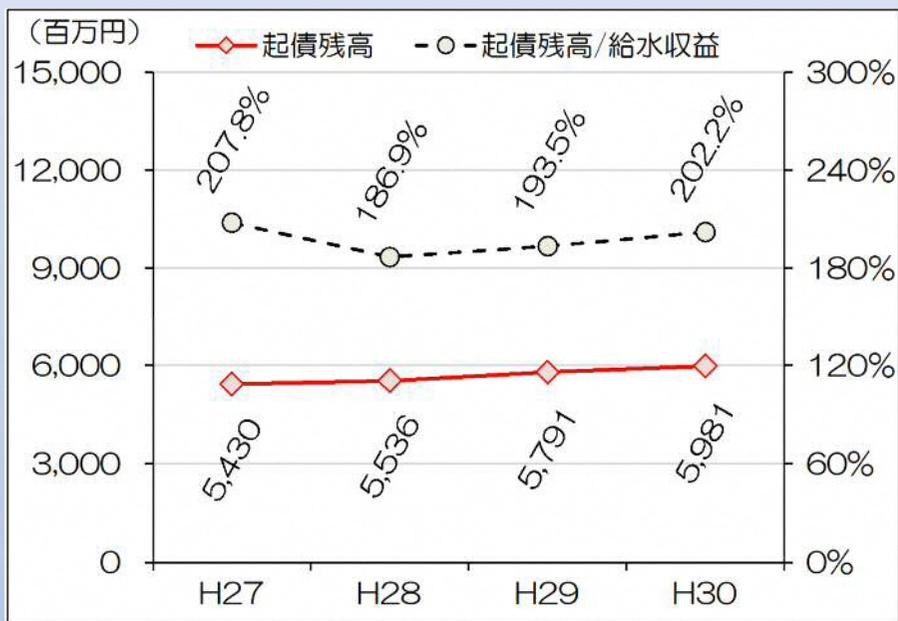
- ・ 近接事業体に比べ資金残高は中位であるが、資金残高/給水収益は低い
- ・ 事業持続のためには、現行と同等程度の資金残高を維持しておきたい



(3) 財政見通し

〈起債残高〉

- ・ 起債残高は、平成29年度末57.9億円、平成30年度末59.8億円
- ・ 起債残高/給水収益（193.5%）は、同規模事業者と比べて低い



(3) 財政見通し

〈起債残高〉

- ・ 近接事業体に比べ起債残高は少なく、起債残高/給水収益は低い
- ・ 建設投資の補填として、企業債の発行も選択肢の一つ

